

第4節 景観重点地区と景観重点地区候補の景観形成方針

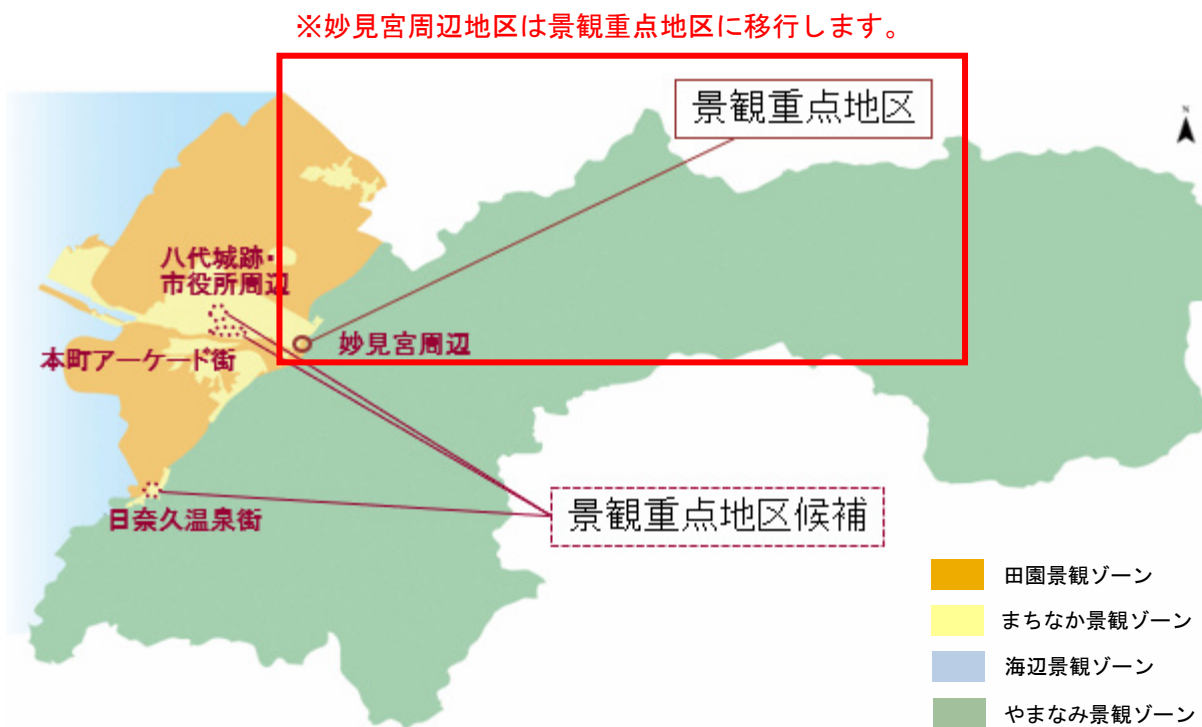
市全域を対象に景観形成を進めていきますが、地域における景観意識の度合い、景観に与える影響度（イメージアップの度合い）、市民の関心度（注目度）には差があることから、市全域で一斉に、一律に景観形成を進めていくことが、必ずしも効果的であるとは限りません。

まずは、市民の関心が高く市の魅力向上（イメージアップ）に効果が高い地区で、重点的に景観まちづくりを行うことにより、市の景観まちづくりの手本となるモデルをつくり、市民の景観に対する意識の醸成につなげていくことが重要です。

そこで、市民の関心が高く、積極的な景観誘導が必要と考えられる地区を「景観重点地区候補」に位置づけ、その後、地区住民との協議により景観形成方針や景観ルールに関する合意形成が図られた場合には、よりきめ細やかな規制誘導を行う「景観重点地区」に指定していくこととします。

本計画では、「妙見宮周辺地区」を令和〇年〇月〇日に「景観重点地区」に指定し、景観形成方針を示しています。また、「景観重点地区候補」に位置づけられている「八代城跡・市役所周辺地区」、「本町アーケード街地区」、「日奈久温泉街地区」の3地区については、今後、各地区の景観形成方針（案）を基に、地区住民と協議を進めていくこととしています。

※赤字部分を変更しました。



▲景観重点地区・景観重点地区候補 位置

(1) 妙見宮周辺

※ページが変更になります。

「妙見宮周辺」・・・ P.37→P.34

①特性

- 「妙見さん」と呼ばれ、親しまれる八代神社(妙見宮)を中心とした景観エリアです。
- ユネスコ無形文化遺産に登録された八代妙見祭や八代神社氷室祭が行われる時期は、多くの人々が訪れ、賑わいをみせています。
- 八代神社(妙見宮)の門前町として形成され、今でも、春光寺、紙漉き水路などの風情ある歴史的景観が残っています。
- 市街地を見渡すことができる古麓稻荷神社は、良好な視点場となっています。



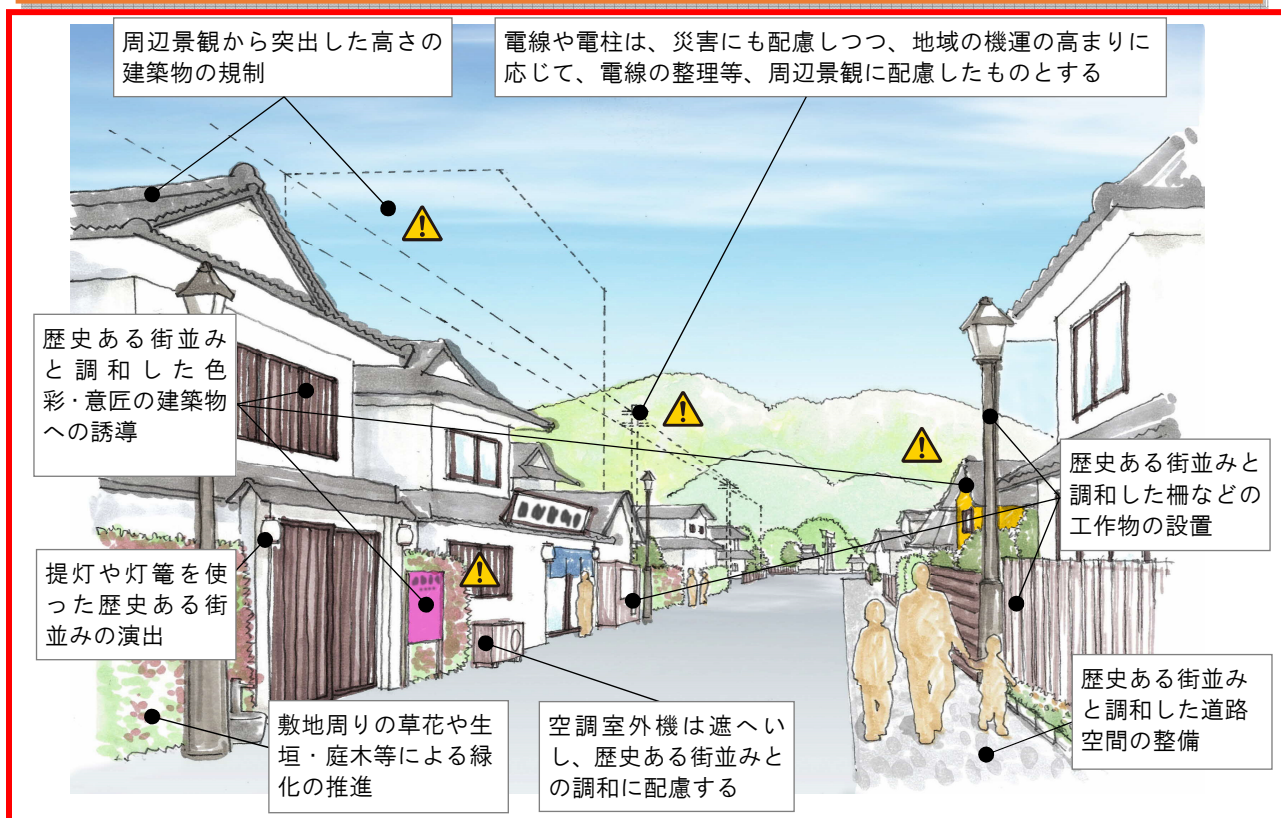
※写真を変更しました。

②景観重点地区への選定理由

- 八代妙見祭など、祭りの風情と調和した歴史と風格のあるまちなみ形成が必要な地区
- 八代神社(妙見宮)などの歴史的資源と住宅地との調和が必要な地区
- 歴史的資源の維持・保全が必要な地区

③景観形成方針

門前町の風情が残る「妙見さん」の景観づくり



※イラスト及びコメントを修正・変更しました。

(1) 八代城跡・市役所周辺

※ページが変更になります。

「八代城跡・市役所周辺」・・・P.34→P.35

①特性

- 八代城跡・市役所を中心とした景観エリアです。
- 八代城跡のお堀や石垣、松浜軒、社寺、町家など、多くの歴史的観光資源が集まっており、市を代表する観光エリアとして、国内外から観光客が訪れています。
- 市役所は新庁舎整備が進められており、庁舎を中心としたエリアの景観整備に注目が集まっています。



②景観重点地区候補への選定理由

- 八代城跡などの歴史的資源と周辺景観との調和が必要な地区
- 市役所新庁舎と周辺市街地との一体となった景観整備が求められている地区
- 市を代表する観光エリアとして、国内外から観光客を呼び込むための魅力ある景観形成が求められている地区

③景観形成方針（案）

市民の癒し「八代城跡」と調和した、和の景観づくり

電線や電柱は、災害にも配慮しつつ、地域の機運の高まりに応じて、電線の整理等、周辺景観に配慮したものとする

広告物は必要最小限の数・大きさにするとともに、周辺景観と調和した統一感のあるものとする
派手な色彩の広告物の規制

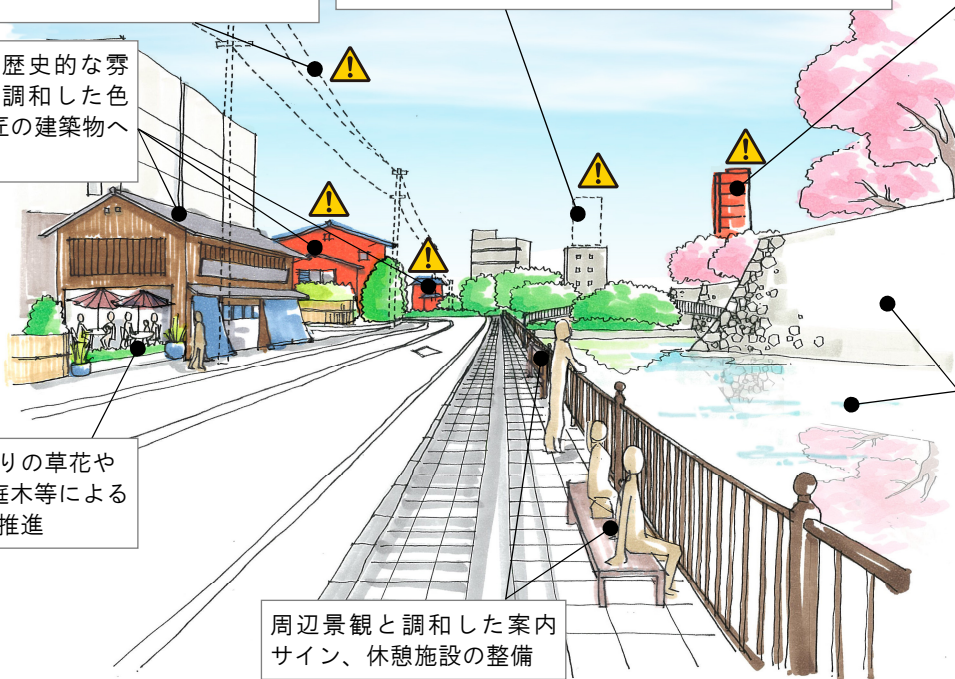
周辺景観と不調和な派手な色彩・規模の建築物の規制

周辺の歴史的な雰囲気と調和した色彩・意匠の建築物への誘導

敷地周りの草花や生垣・庭木等による緑化の推進

周辺景観と調和した案内サイン、休憩施設の整備

石垣の草取り、お堀の水の浄化



(2) 本町アーケード街

※ページが変更になります。

「本町アーケード街」 . . . P.35→P.36

①特性

- 全長約730mに渡る本町アーケード商店街を中心とした景観エリアです。
- 飲食店や衣料店など、約150店舗が軒を連ね、市民の生活を支えています。
- 休憩所や広場があり、市民の交流の場、憩いの場となっています。
- 「土曜夜市」やクルーズ船寄港に併せた「マルシェ」など、まちの賑わいを創出するイベントが行われています。
- 薩摩街道沿いをはじめ、近隣には社寺や町家が点在しています。



②景観重点地区候補への選定理由

- 八代城跡・松浜軒等と一体となった「和の景観づくり」など、テーマ性を持った統一感のある景観形成が必要な地区
- まちの賑わいを創出するイベント活動に併せて、集客力向上を目的とした商店街主体の景観まちづくり活動が必要な地区

③景観形成方針（案）

「和モダン」をテーマにした、統一感のある本町アーケードの景観づくり



(3) 日奈久温泉街

※ページが変更になります。

「日奈久温泉街」

・・・ P.36→P.37

①特性

- 日奈久温泉街の趣あるまちなみを中心とした景観エリアです。
- 600年の歴史を持つ日奈久温泉は、熊本県内で最も古い温泉のひとつです。
- なまこ壁や木造建造物のまちなみが、今も残り、ところどころで小さなお堂や神社を見つけることができます。
- 棧敷の相撲場がある日奈久温泉神社からは、日奈久の市街地と八代海を眺めることができ、良好な視点場となっています。



②景観重点地区候補への選定理由

- 景観形成事業を実施するなど、景観まちづくりの機運が高まっている地区
- 温泉街の風情を活かした統一感のある和風のまちなみ形成が必要な地区
- 歴史的資源の維持・保全が必要な地区

③景観形成方針（案）

歴史の香り漂うまち 日奈久温泉街の景観づくり

伝統的な様式の建造物の保全・継承

電線や電柱は、災害にも配慮しつつ、地域の機運の高まりに応じて、電線の整理等、周辺景観に配慮したものとする

温泉街の風情と調和した色彩・意匠の建築物への誘導

案内板・自動販売機等は温泉街の風情との調和に配慮する

空調室外機は遮へいし、温泉街の風情との調和に配慮する

暖簾や灯籠・木材などを使った温泉街の風情がある街並みの演出

敷地周りの草花や生垣・庭木等による緑化の推進

温泉街の風情と調和した柵などの工作物の設置

ベンチなどを軒先に置き、休みながら散策できる歩行空間の整備

なまこ壁・白壁など伝統的な様式の建造物の保全・継承

空き家・空き地・空き店舗等の活用促進による、まちのにぎわいづくり

温泉街の風情と調和した道路空間の整備